



どっちが正しい？

先日インターネットである記事を読みました。その内容は…「電車内で優先席に座る若者がいました。目の前にはハイキング帰りらしい老夫婦が立っています。するとそのおじさんが若者に「優先席なんだから(私たちに)席を譲りなさい」と言ったそうです。しかしその若者は「ハイキングに行くくらい元気なのに、なぜ席を譲らなくてはならないんだ。おれの方が一日仕事をして疲れている。健康になりたいからハイキングに行っているんだから、電車内でも立っている。しかも優先席だからと言って必ず譲らなければならないわけでもない」と言い、席を譲らなかったそうです。皆さんはこのやり取りを聞いてどう思いますか？たぶん、どちらの言い分も正しいので、明確に白黒つけるのは難しいと思います。あくまで私の個人的感想を書きますが、色々な意見があると思いますので、一

つの感想として捉えていただきたいな～って思います。まずは、やっぱりおじいちゃんの言い方はまずいかな～って思います。優先席＝シルバーの方の席という認識が強すぎてしまうと、今回みたいに「どきなさい」ってなってしまうと思います。でも本当は善意の席だと思います。相手に善意を強要し、場所を確保するのはやっぱりちょっと違うかな～って私も考えてしまいます。次はハイキング帰りの部分です。私も席をよく譲りますが、それは体を休めて欲しいという部分と、安全面の部分があるからです。やはり年配の方や障がいを持った方は何かあった際に対処が出来にくいと思います。もし急ブレーキや何かの衝撃があった際に立っていると大惨事になりかねません。それを未然に防ぐ意味でも私は席を譲っています。だから今回の件でいうと、元気そうに見えるか



らとって、いざという時に対処できるかは別問題なので、若者にその点で老夫婦への配慮が足りなかったように思います。今回のように少しのボタンのかけ違いで人間関係のトラブルって起こってしまいますよね。もしお爺さんが「ごめんね、ハイキングではりきりすぎちゃって疲れてしまったから代わってもらえないかな～」っていえば、若者も譲ってくれたかもしれないし、それを聞いた他の人も配慮してくれたかもしれない。優先席だからどきなさい！って言われたら若者を始め、他の乗客の人も気分的に譲りたくなくなってしまう気がします…。少し気を付けるだけで、お互いに笑顔でいられるのにな～って考えてしまった記事でした。

みんなのひとり言

星野さんが1月で退社されるので、その送迎会をやきとり屋さんで行いました。「何でも好きなものを頼んでいいよ～」という社長の言葉とは裏腹に社長がメニューを独占して、次から次へと注文していきます。気が付けば机の上は料理でいっぱい…。そうです社長はいつも頼みすぎちゃうんです。「今日は飲むぞ」といい、焼酎をボトルで頼み、もうお腹いっぱい…って皆が言っているのに、「釜飯2つね!」と追加注文していました。でも一番笑えたのは、もう帰ろうとした時に宮崎さんが「ホルモン串8本」と注文した事でした。なぜこんな終盤に、しかも参加者は6人だったのに、なぜ8本なんだ…という所に爆笑してしまいました(笑)



喜んでいただけました！のコーナー

先日、岡崎にも雪が降りました。朝起きたら一面真っ白！雪が積もったらやる事…。それは雪だるまの作成です(笑)社長が早速作り始めました。すると近所の子供たちも来て、一緒に作る事になりました。子どもたちも久しぶりの雪で、凄くテンションが高くなっていました。社長に聞くと、朝、近所の子供たちが庭を見ていたので「どうしたの？」と聞くと、雪が沢山あっていいな～って言うので

「自由に遊んでいいよ！」って言ってあげたそうです。その子どもたちも大喜びで、庭中を駆け回っていたそうです。自分もそうでしたが、やっぱり子供にとって雪は特別な存在ですもんね。なんて話を聞きながら、あっという間に巨大な雪だるまが完成しました。急いで作ったので、ちょっと丸っぽくない所がありますが、そこは見なかったことに…(笑)子どもたちと笑顔でわかれて、仕事に向か

いました。ただ、昼過ぎにもう一度雪だるまを見てみたら重みで頭が転げ落ちて、無残な姿になっていました…。やっぱりちゃんと固めないダメみたいですね…。ま、子どもたちと楽しい思い出が作れたから良しとしよう…。

今月の格言！

自分自身を信じてみるだけでいい。きっと生きる道が見えてくる

(ゲーテ)

自分の事を信じるって凄く大切な事だと思います。

でも、私ちできていない…。私ち自分を信じてあげなきゃ